Creative Enzymes®

ネイティブ牛リンゴ酸脱水素酵素

Cat. No. NATE-0445

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	マリック脱水素酵素（MDH）は、真核細胞内に2つのアイソフォームとして存在します。1つはミトコンドリアで発現し、TCAサイクルで機能し、もう1つは細胞質にあり、ミトコンドリアからのマレートをオキサロ酢酸に□す役割を果たします。
用途	マリック脱水素酵素は、生物プロセスにおけるフマル酸のオンラインモニタリングのためのフローインジェクションシステムを評価する研究に使用されました。1 また、テキサス州のピーナッツに寄生する根結線虫を調□する研究にも使用されました。
別名	マリック脱水素酵素; L-マレート脱水素酵素; NAD-L-マレート脱水素酵素; マリック酸脱水素酵素; NAD依存性マリック脱水素酵素; NAD-マレート脱水素酵素; NAD-マリック脱水素酵素; マレート(NAD)脱水素酵素; NAD依存性マレート脱水素酵素; NAD特異的マレート脱水素酵素; NAD連結マレート脱水素酵素; MDH; L-マレート-NAD+ オキシドレダクターゼ; EC 1.1.1.37; 9001-64-3

製品情報

種	ウシ
由来	牛の心臓
形態	硫酸アンモニウム懸濁液；3 M (NH4)2SO4-0.01 M KH2PO4 溶液中の懸濁液、pH 7.3
EC番号	EC 1.1.1.37
CAS登□番号	9001-64-3
活性	2000-4000 ユニット/mg タンパク質（修正ワールブルグ-クリスチャン）
混入物	<0.01% グルタミン酸-オキサロ酢酸トランスアミナーゼ; <0.01% グルタミン酸-ピルビン酸トランスアミナーゼ
単位定義	1ユニットは、pH 7.5、25°Cで1.0 µmoleのオキサロ酢酸とβ-NADHをL-マレートとβ-NADに□換します。

保管・発送情報

保存方法	2-8°C